

# 春の火災予防運動

3月1日から  
3月7日まで

# 女性防火クラブだより

発行所：岐阜市女性防火クラブ  
運営協議会事務局  
〒500-8312 岐阜市美江寺町  
2丁目9番地  
☎058-262-7163  
令和3年3月1日号  
(通算第44号)

## その火事を防ぐあなたに 令和2年度 全国統一防火標語 金メダル



三月一日から七日までの一週間は、春の火災予防運動の実施期間です。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることなどを目的に、毎年実施されています。今年度の全国統一防火標語は『その火事を防ぐあなたに 金メダル』です。火災予防運動期間中には、全国各地で防火に関する様々な行事が行われます。岐阜市消防本部では岐阜

市危険物安全協会、岐阜市防火協会の協力を得て、火災予防啓発ポスターを作成し、市内の関係機関、主要事業所などに配布して火災予防を呼びかけます。

平成二十三年六月一日からすべての住宅に義務化となっている住宅用火災警報器の岐阜市における設置率は、現在八割強となっています。未設置のお宅は早期に設置しましょう。

そして、この機会に是非、あなたの大切な家族・財産を守るため、ご家庭でも火災予防について考えてみましょう。



## 令和二年 岐阜市火災概要



令和二年一月一日から十二月三十一日に岐阜市内で発生した火災の総件数は九十三件で、前年の九十七件と比べると四件減少しました。出火原因は、「電気関係」が十九件で最も多く、「放火・放火の疑い」が十五件、「こんろ」が十二件、「たばこ」が十件、「たき火」が七件の順となりました。火災による死者は七人で、全員が住宅火災で亡くなり、約七割が六十五歳以上の方で、住宅用火災警報器の設置率は約三割程度でした。火災による負傷者は、十六人で前年と比べると五人増加しました。建物火災の件数は、五十八件で前年と比べると七件増加しました。うち住宅火災は三十五件で、建物火災全体の約六割を占めています。火災による損害額は、約一億百五十五万円で、前年と比べると約二千七百万円損害額が増加しました。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。大切な家族や財産を守るためにも、火災を無くして安心・安全な街をつくりましょう。

### 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

#### ・三つの習慣・四つの対策・

#### 三つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

#### 四つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

各地区の女性防火クラブから

「華陽女性防火クラブの活動」

華陽女性防火クラブ

会長 岡田 啓子

華陽女性防火クラブは、現在三十二名で、校下に存在する有志で組織されている団体です。クラブの目的は、消防に対する知識を習得するとともに、家庭における火災予防に努め、火災のない平和で豊かな地域づくりに寄与することです。

その一つに、岐阜中消防署東南分署にご指導いただき、華陽市民消火隊の方々と合同訓練を年に五回行なっております。消火隊の方々は、ポンプを使用して、放水までの手順と放水訓練を行います。女性防火クラブ員は、ホースの接続訓練を行います。私は、初めて参加して体験しましたが、最初はうまく出来ず、何度もご指導いただき出来るようになりました。消防署の方は、いとも簡単にやられるのでびっくりし、日頃の訓練のままものだと感心し、日夜、私たちの生活を守ってくださっているのだと、感謝の気持ちになりました。

もう一つは、赤十字奉仕団華陽分団の方々と合同訓練ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため実施できず、中止となりました。

他にも行事はありましたが実施できずに残念でなりません。防火について、より一層知識を高めたいと思います。

「マッチ一本

火事のもと

火の用心」



ホース接続訓練の様子



「長良西女性防火クラブの活動」

長良西女性防火クラブ

会長 渡辺 礼子

長良西女性防火クラブは、自主防災隊組織の活動も担っています。

今年度は、様々な行事が中止される中、活動が制限され苦労しました。しかし、どんな時も災害は起きます。いざというときのために、備えることも大切です。前年度研修会で学んだ、避難所に行かなくて済むための備えを復習し、クラブ員の意識を高めるために、災害用トイレの見本を配布することにしました。災害時に一番困るトイレの問題を考え、それぞれの家庭で試してみ、必要な量を備蓄してもらうのが目的です。

避難所が開設された時を想定した訓練では、避難所準備の手順や、テントの組み立てなどを行いました。また、アルファ米を使った炊き出し訓練を小学生と共に学びながら実施し、おにぎりを試食してもらいました。子ども達が家庭で防災について話題にしてくれるといいなと思います。クラブ員も今年度は六十五名

と、増えてきました。

女性防火クラブの立場から、地域を守る活動を、これからも続けていきたいと思えます。



炊き出し訓練の様子

大切な家族や財産を火災の被害から守るため、**寝室・階段**（寝室が二階以上の場合）に**住宅用火災警報器**を必ず設置してね！  
**十年経ったら電池・機器交換**の時期です。維持管理も忘れずに！

